

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	<p>ラオス・シェンクワン県におけるクラスター子弾不発弾の機械処理が加速し、不発弾の存在による地域の経済的障害が取り除かれて活発な経済活動の拡大が可能になる。</p> <p>【上位目標達成の可能性】 処理活動前に休耕地、未活用地であった土地が田畑、バナナ園、牧草地等として活用されているのを確認できた。さらに道路等のインフラ整備に繋がれば経済活動の活発化が期待できる。</p>
(2) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・シェンクワン県の内、特に汚染度の激しいペック・カム・ブーク郡を主事業地として、特に農地の安全化を優先した処理活動を実施できた。 ・クラスター子弾不発弾の第2年次処理目標が3郡、8村、120haであったのに対し、処理成果は3郡、6村、115.7haであり、処理面積の達成度は96.4%であった。 <p>【指導員、機械操作・整備員の養成達成度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに養成した機械操作・整備員10名を指導員として養成、学科・実技80% 新たに新規の機械操作・整備員6名を養成した。(学科85%、実技77%)次年度引き続きOJTを活用して練度向上を図る。
(3) 事業内容	<p>(ア) 準備及び処理作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JMAS 専門家の指導の下で、UXO Lao シェンクワン支部の2個クリアランスチーム及び2個機械処理チームと協同し、クラスター子弾処理機2台をもって処理を実施した。 ・処理地の選択にあたっては、田畑地のような住民の経済活動に直接影響を及ぼす地域を優先して処理活動を行った。 <p>(イ) 指導要員の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理活動と並行しJMAS 専門家が現機械処理要員10名を対象に指導員として必要な知識及び技能の教育を行った。 <p>(ウ) 新規要員の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月8日から12月21日の間、JMAS 専門家の指導・助言の下、新たな機械処理要員6名の養成をUXO Lao シェンクワン支部に計画・実施させた。 <p>(エ) NRA (ラオス不発弾処理国家統制機構) による品質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスター子弾処理に関する「品質管理」をNRAの品質管理チームにより8月と1月の2回計画・実施した。 <p>(オ) 調整会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NRA 及びUXO Lao 本部を代表とする不発弾処理関係者との調整会議を2月24日に1回実施した。 <p>(カ) ワークショップの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整会議の実施に合わせ、シェンクワン県内行政機関等を招待して事業成果の共有及び意見交換を目的としたワークショップを2月24日に開催した。 <p>(キ) 部品の調達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスター子弾処理機の定期整備部品であるシリンダー等を計画的に調達し12月に補給を完了した。 <p>(ク) 本部からの現地視察確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部事業担当理事等による現地視察を予定したが新型コロナウイルス拡大による入国制限のため、事業期間内4回の現地視察総てを断念した。

<p>(4) 達成された成果</p>	<p>1 クラスタ子弾不発弾の機械処理加速化 【成果】 120haの土地が安全化処理され、用地汚染による地域の経済発展の阻害事項が除去される。 【指標】 「3郡（ペック、カム、プーク）・8村において安全化処理を実施し、前期との累計16村の安全化処理を完了させる。 成果： 新型コロナウイルス感染拡大の影響による現場処理活動中止（26日間）により、安全化面積は115.7haであった。 また、指標に対し割当地域の変更等により処理地域は3郡6村となったが、1年次事業との累計14村の安全化処理を完了させた。</p> <p>2 技術移譲態勢の確立 (1) 指導員の養成 【成果】 「これまでに育成した機械操作・整備員10名が指導員として養成される。 【指標】 「JMAS専門家が実施する学科試験及び実技試験に合格させる。 成果： 機械操作・整備員10名への座学・実技教育を実施し指導員としての知識・技術を向上させた。 指標に対しJMAS専門家が実施する試験を10名に受検させ全員が合格点の技量評価であった。学科平均80点、実技最高点95、最低87</p> <p>(2) 新規機械操作・整備員の養成 【成果】 「機械操作・整備員6名が新たに養成される。 【指標】 「UXO Lao シェンクワン支部が実施する学科試験及び実技試験に合格させる。 成果： UXO Laoに新規6名を選考させ、座学・実技・OJTにより新規の機械操作・整備員を養成した。 指標に対し、JMAS専門家の指導・助言の下6名を受検させ全員が合格点の技量評価であった。</p> <p>3 NRA（ラオス不発弾処理国家統制機構） 品質管理 NRAによる探知器材・処理機材の品質点検及び処理作業の品質管理点検を計画的に実施し、クラスタ子弾処理機による処理作業の品質を向上させる。本年度品質管理チームによる点検を2回実施する。 成果： NRA品質管理チームによるQA及びQCを受検し処理機材、処理作業の品質を維持・向上させた。 点検を8月、2月の2回受検し事業の品質が維持されているとの評価を得た。</p> <p>4 調整会議 NRA及びUXO Lao本部との技術調整会議を実施して、処理実施上の問題点の把握・解決及びSOP改善(安全項目の追加)を図る。本年度の技術調整会議を2回実施する。 成果： 不発弾処理関係者による技術調整会議を実施して事業に関する技術意見を広く収集できた。また、会議2回に対し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2月1回のみの実施となったが処理技術に関する充実した意見を聴取できた。</p> <p>5 ワークショップの開催 シェンクアン県内会場においてシェンクアン県行政機関及び近隣村民等約50名を対象にしたワークショップを開催し、クラスタ子弾不発弾機械処理の特性、運用要領並びに達成した成果等の情報を共有し、機械処理の有用性について理解を促進するとともに、事後の処理活動について意見交換を行う。本年度のワークショップを1回実施する。</p>
--------------------	--

	<p>成果：新型コロナウイルス感染拡大の影響により地域住民の参加は少数であったが、県行政機関関係者等の参加を得てクラスター子弾機械処理に関する理解を深めることができた。</p> <p>計画通り2月に1回実施でき参加者からも好評を得た。</p> <p>6 部品の調達</p> <p>クラスター子弾処理機のバケット部部品を計画的に調達し、処理機の機能の維持を図る。この際、派遣されたエンジニアとの意見交換を実施し、クラスター子弾処理機の安全で効率的な運用を追求する。</p> <p>成果：コマツとの緊密な調整により計画的な調達を行い、処理機の機能を良好な状態に維持できた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響によりエンジニアの派遣が実施できなかったが、テレビ会議の活用により処理機の安全面及び効率的な運用面の意見交換により成果を得た。</p> <p>7 本部からの現地視察確認</p> <p>本部事業担当理事等による視察を計画的に実施し、現地の状況・要望を確実に把握するとともに NRA 及び UXO Lao 本部と機械処理技術移譲に関し、段階的な移管要領について調整を進める。</p> <p>成果：新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画した総ての現地視察が実施できなかったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりテレビ会議（15回実施）の活用により現地の状況・要望の把握及び NRA、UXO Lao 本部との機械処理技術移譲に関する調整、意見交換により成果を得た。</p>
<p>(5) 持続発展性</p>	<p>(ア) クラスター子弾不発弾の機械処理加速化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NRA 品質管理チームによるクラスター子弾機械処理作業の品質管理、定期整備等の実施によるクラスター子弾処理機の性能の維持が図られ、機械処理作業が定着している。 ・ JMAS、NRA 及び UXO Lao 関係機関等が参加する調整会議の実施等により、機械処理作業の SOP が改善されるとともに迅速かつ安全な不発弾処理の主要な方法としての認識が拡大している。 ・ 指導員の養成及び新規要員養成により UXO Lao シェンクワン支部の機械処理技術が向上し広がっている。 <p>(イ) クラスター子弾処理機技術移譲等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに養成した機械処理要員が指導員として養成され、技術移譲の核となる教育を担当する人材が確保されている。 ・ UXO Lao シェンクワン支部に機械処理要員の新規養成を計画・実施させ機械操作・整備技術の継続的な継承が可能となった。 ・ シェンクワン支部への技術移譲がさらに進展し体制が確立すれば、UXO Lao 他支部（県）への円滑な技術の移転が可能となる。